『PYTHONではじめるオープンデータ分析』輪読会（初級編）

担　　当：原 泰史准教授

スケジュール：11月～12月指定水曜日 全6回 11/5、12、19、12/10、17、24

時　　間：19:30～21:00

実施方法：Zoomによるオンライン

対　　象：関心がある方ならどなたでも

定員・最少催行人数：定員20名 最少催行人数5名
＊最少数に満たない場合は開催を見送ることがございますので、ご了承ください

参 加 費：現代経営学研究所「年会費型」賛助会員：6,600円（税込）
現代経営学研究所「都度払型」賛助会員・非会員：13,200円（税込）
＊課題図書はご自身で購入願います。開講確定しましたら早めにご準備ください
なお、課題図書の発売日は10月22日（水）です

申込方法：現代経営学研究所WEB掲載の申込事項をメール本文に明示して、件名を「Python **輪読会 参加希望**」として、事務局（bi@riam.jp）宛てにお申し込みください

申込締切：2025年10月17日（金） ＊定員に達し次第、締め切ります

課題図書：吉住遼・原泰史（著）『PYTHONではじめるオープンデータ分析経済統計の取得から、データハンドリング・可視化・分析まで』講談社、2025年10月22日発刊

内容紹介：
データサイエンス学部 / 研究科がそこかしこの大学で生まれ、ようやく軌道に乗り始めた途端、（少なくとも2025年下半期の段階では課金版の）生成AI（LLM）さえあれば「Python」や「R」、あるいは統計学の知識を「わざわざ」履修する必要はなくなってしまったように思えます。さて、本当にそうでしょうか？
本輪読会では、Pythonを主に用いオープンデータを活用することで、それがどのように企業経営やマーケティング分析などに活用できるかを参加者全員で考えたいと思います。プログラミングの知識については、参加の前提としません。参加要項に各回の該当章や設問が記載されていますので、考えをまとめてご参加ください。日々の業務などで抱えている課題や問題意識を持った参加者の方が、本書に基づきコーディングの手法やデータの種類を学び、応用方法を知ることで、「現場」でどのように活用しうるかを考える場にできればと思います。

第1回（11/ 5）：イントロダクション ／ オープンデータとは （第1章）
第2回（11/12）：Pythonとは？ ／ Pandasの利用方法 （第1、2、3章）
第3回（11/19）：データの可視化（Plotly）の方法 （第3、4章）
第4回（12/10）：オープンデータの活用基礎編 （第5、6章）
第5回（12/17）：オープンデータの活用応用編 （第9、11章）
第6回（12/24）：参加者によるデータ分析報告会 （第12、13章）

お問い合わせ：現代経営学研究所 e-mail：bi@riam.jp ☎ 078-805-1623（平日10:00～16:00）

＊お問い合わせ・お申し込みいただき、1週間経過しても担当者より返信がない場合は、メール不達の場合がございますので、お手数ですが事務局までお電話ください。